

ほのほのだよ

～ 親子で楽しむ 絵本の世界 ～

今月紹介する「いちにのさんぽ」の絵本は繰り返し読み、言葉を丁寧に伝えながら子ども達の言葉の習得にもつながっていくと嬉しいなと思い選びました。また、「おちびさんじゃないよ」は2024年課題図書小学生低学年の部で選定された図書で幼児クラスに読みにいきたいと思います。

「いちにのさんぽ」(乳児クラス向け)

出版社：株式会社アリス館
作：ひろかわさえこ

「いちに、いちに、いにちのさんぽ…、いちに、いちに、いちにのさんぽ…」と、テンポよく読みます。途中、友達に出会って、また一緒に「いちに、いちに、いちにのさんぽ…」とさんぽが始まるかわいい絵本です。

シリーズで「あめぽったん」「おふろにおいて」もあります。



「おちびさんじゃないよ」

(幼児クラス向け)

出版社：イマジネーション・プラス
作：マヤ・マイヤーズ
絵：ヘウォン・ユン
訳：まえざわ あきえ

主人公・テンちゃんは体の小さな女の子。周りのみんなは「おちびさん」って呼ぶけれど、実は何だってできるし、色んな事の知っているのです。ある日、転校生がやってきました。いじめっこが近づきます。助けてあげたい。さあ、どうしよう。

